



「一番の励みは

お客さんの笑顔」

流水砕氷船ガリンコ号Ⅱ

船長 山井 茂さん



「た くさんの人が乗船してくれ

る事が私の一番の励みになるんですよ」と、全国各地から訪れる観光客を足掛け22年もの長い間、見つめているのが流水砕氷船ガリンコ号Ⅱの山井茂船長です。

冬期運航の真っ只中で多忙な日々が続いていますが、山井船長にとって紋別に足を運んでくれる「大切なお客さん」の笑顔が、身体の疲れを癒してくれると言います。

初代ガリンコ号で10年間、二代目は今年で12年目になります。これまでの様々な出来事が思い出されます。

初代からのファンで長年乗船してくれる人、流水に乗ったまま沖に流されたシカの救出作戦、「ガリンコ号に乗りたくない」という思いを果たせずに亡くなった子息の遺影を持ち乗船した人…。有名人もお忍びで来ることもあります。どんなに有名な人でも操舵室を見学すると子どものように喜んでくれると言います。

平成16年のオホーツクDOいなか博の時に宣伝のために東京のお台場まで航行したのも思い出深いと山井船長。お台場で見て来ました」という乗船客にも出会いました。

今年の冬期運航では、「これまで以上に市民に親しんでもらいたい」との願いから市民割引を拡大させていて、「市民の人にたくさん乗って欲しい」と力を込めます。市外の人を連れてきてくれた場合の市民割引料金も設定しています。

「何年も来てくれるけれども、流水を見れない人もいるし、毎年、流水を見れる人もいる」と山井船長。自然相手の商売なので仕方のないことですが、なるべく乗船した人々がガツカリせず、喜んで帰ってもらいたいとの願いを込め、今日も安心安全な航行を心掛けて舵を握っています。

「これまで事故なく来れたのは支えてくれる全ての人のお陰です」とも話していました。